



# 結城農業かわら版



第134号  
令和3年7月20日

発行元：結城地域農業改良普及センター  
TEL：0296-48-0184  
FAX：0296-48-2682



## 結城地域アグリ講座

### 「先輩農家に学ぶ経営計画」を開講しました



6月30日、結城普及センターで令和3年度第1回結城地域アグリ講座を開講し、5名の生産者が参加しました。

今回は、八千代町で根菜類を主に栽培している古橋春奈氏を講師とし、自身の体験をもとにした経営計画作成についての事例発表をしていただきました。事例発表のあとは、普及センター職員の説明を受けながら、各受講生が、経営状況の把握や今年度に達成したい目標の設定を行いました。

講座の受講生からは、「意外と我が家の経営を把握していなかった」、「今年1年でやるべきことを整理することができた」という声が聞かれました。

結城地域アグリ講座では、今後も受講生の所得向上や目標達成などに役立つ基礎的講座の開催や先進的な生産者の視察などを予定しています。

ご興味のある方がいらっしゃいましたら、結城普及センターまでご連絡ください。



## 結城4Hクラブが朝どりトウモロコシの注文販売を行いました！



6月28日、結城4Hクラブが夏期プロジェクトとして行っているトウモロコシの収穫・販売を行いました。

当日は台風の影響が心配されましたが、幸いにも雨風はほとんどなく、予定通り早朝から収穫を行うことができ、午前中のうちに結城市内の幼稚園や保育園、小中学校へトウモロコシを配達しました。

今年の注文販売は、クラブ員が減少したこともあり、栽培で苦労することもありましたが、全員が協力することにより、新鮮な状態でお客様へお届けすることができました。



クラブ員からは、「順調に作業が進んで良かった。」、「例年より早い時間であったため、暗くて収穫が大変だった」という声が聞かれました。

今後も普及センターでは、結城4Hクラブのプロジェクト活動を支援していきます。

## 米を生産している農家の皆様へ



国の発表では、令和3年産米の価格を維持するためには、**主食用米について全国で約36万トンという、過去最大規模の転換が必要**とされています。

◎ 経営所得安定対策の制度を活用し、需要に応じた米づくりを定着させましょう。



# 直売所で野菜栽培講習会を開催



熱心に話を聴く参加者

6月21日、常総市の石下農産物直売所の定例会が開催され、普及センター職員が会員に対して栽培講習会を行いました。今回は、今後のナスの栽培管理のポイントや発生しやすい病害虫について学習しました。

講習会では、多くの質問や意見交換が行われ、熱心にメモをとるなど積極的な姿が見られました。

直売所は、常総市のランドマークである「豊田城」の南側に位置し、圏央道常総インターチェンジ近くにあるため、遠方からも多くのお客様が訪れています。地元の新鮮な野菜のほか、小麦まんじゅうなどの加工品が人気です。

## 「6次産業化促進講座」ステップアップコース募集

現在6次産業化に取り組んでいる農業者を対象に、農産加工の知識・技術を高めていただくため、6次産業化促進講座を開催します。講座は実習を中心に行われます。お申込みは、結城普及センターまでご連絡ください。

### いばらき農業アカデミー「6次産業化促進講座」ステップアップコース後期

開催日時	内容
9月9日（木）10時～15時	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品の表示について</li> </ul>
9月16日（木）10時～16時	<ul style="list-style-type: none"> <li>葉物野菜の一次加工（小松菜ピューレ）</li> <li>小松菜ピューレを使った焼き菓子加工</li> <li>膨張剤の特性について</li> </ul>
10月21日（木）10時～16時	<ul style="list-style-type: none"> <li>干し芋加工について</li> <li>干し芋加工事例紹介</li> </ul>
11月11日（木）10時～16時	<ul style="list-style-type: none"> <li>～液体充填機を利用して充てん作業の効率化を図ろう～</li> <li>果実のジャム加工（ビン充填）</li> <li>リンゴの芯と皮から抽出したペクチンゼリー加工（スパウトパウチ充填）</li> <li>ペクチンの分類と特性について</li> <li>甘酒の加工（スパウトパウチ充填）</li> </ul>



主催 茨城県農業総合センター農産加工指導センター

場所 茨城県農業総合センター園芸研究所・農産加工指導センター(笠間安居3165-1)

申込締切 8月13日（金）

※9月9日の講座は、インターネットを利用したオンライン開催です。

ご自宅・普及センターで受講が可能です。



詳細はこちらへ

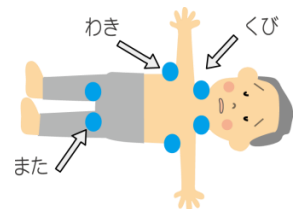
**熱中症に注意!**

近年、農作業中の**熱中症**による死亡事故が増加しています。熱中症は決して人ごとではありません。めまい、顔のほてり、筋肉のけいれん、吐き気などが代表的な症状ですが、熱中症には特徴的な症状がなく、**「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性**があります。症状がでないよう、日頃から熱中症の予防・対策を行いましょ。農作業は日中の気温の高い時間帯を外したり、単独作業を避け、2人以上でお互いに声掛けをしながらの作業をお願いします。

### 熱中症かな?と思ったら

- ✓ すぐに医療機関へ相談、または救急車を呼びましょ
- ✓ 涼しい場所へ移動しましょ
- ✓ 衣服を脱がし、体を冷やして体温を下げましょ
- ✓ 塩分や水分を補給しましょ

→おう吐の症状が出ていたり意識がない場合、むりやり水分を飲ませない



首筋やわき、足の付け根などを冷やす

※参考：農林水産省通知、一般財団法人日本気象協会「熱中症ゼロへ」